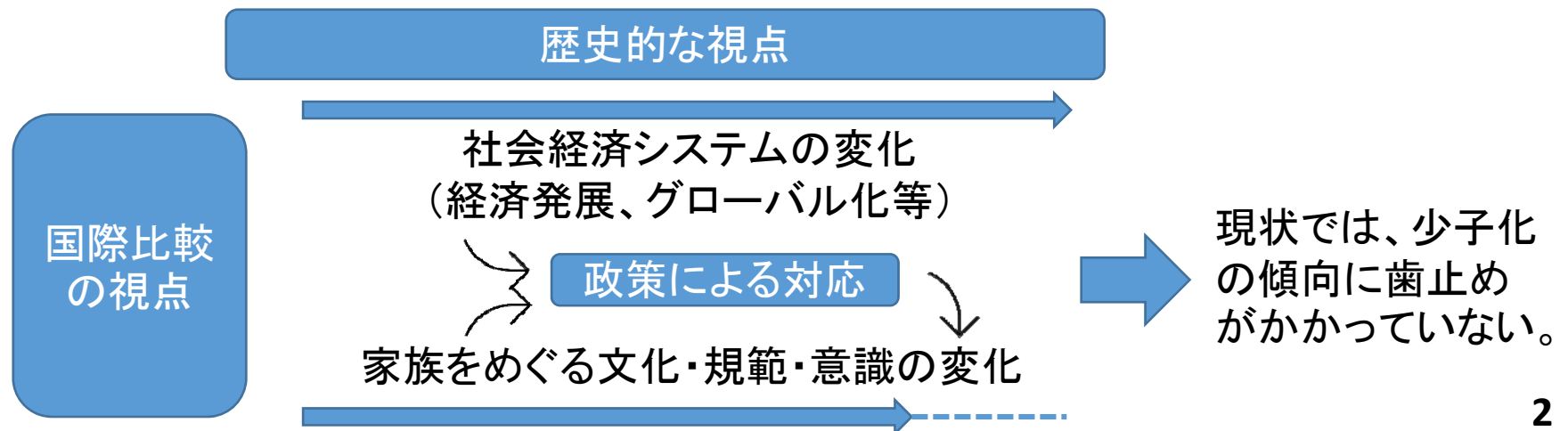


# 財務総合政策研究所からの報告

財務総合政策研究所 総務研究部長  
上田 淳二

2021年3月23日

発表者	発表タイトル
山田昌弘	日本で少子化対策はなぜ失敗したのか ーコロナ後の家族は変わるのか？
山口慎太郎	家族政策が出生率に及ぼす影響
鈴木透	東アジアの低出生力
落合恵美子	1970年代以降の人口政策とその結果： アジアにおけるケアの脱家族化を中心に
山田久	労働市場からみた少子化問題 ～福祉資本主義類型論からの対応策～



## 現在の「立ち位置」の確認

### ① 新型コロナウイルスの影響

感染症拡大と経済活動抑制は、結婚や出産にどのような影響を与えているか。

### ② 近年の日本人の意識

婚姻に対する「規範」についての意識が変化の中で、自らの将来や異性との交際に関する意識はどのように変わっているか。

### ③ 都道府県別の未婚率・人口移動

地域ごとに出生率・未婚率はどのように異なり、地域間人口移動はどのように関係しているか。

## 近年の未婚者増・出生減の背景

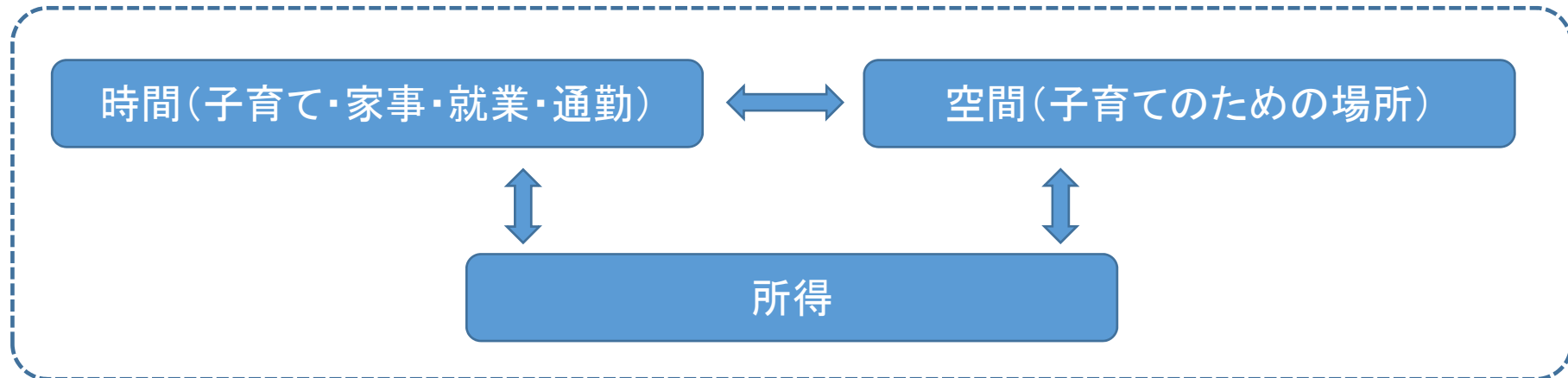
### ④ 未婚者増加の背景

女性の就業が増加する中で、未婚者が増加しているのはなぜか。

### ⑤ 第2子以降の出生の要因

第2子(以降)の出生数が減少しているのはなぜか。

出生・子育てに関する制約のトレード・オフを、どのように緩和することができるか？



- 子育てへの社会的支援とサービスの質の担保
- 働き方改革(労働時間)、男女の役割分担
- 若年者の安定した住居環境と可処分所得の確保(労働生産性と賃金の上昇)

家族や子育てに関する「義務感」を、どのように無理なく「自信」につなげられるか？